

ワークの使い方

① 問題の文章を読み、間違っている所に線を引き、横に正しく直したことはを書きます。

今日、ぼくは、田中君といっしょに公園にで
キャッチボールをしました。あとから、吉田君も
来
行つて、みんなで遊びました。ぼくは、遊んでい
るときに、おさいふを落ちてしまいました。
落として
でも、知らないおじさんが、見つけてもらいまし
うれしくて
た。ぼくは、たのしくて何度もお礼を言いました。

文章の訂正については、解答例以外の表現も可能です。

例… 知らないおじさんが、見つけてもらいました。

*ただし訂正の仕方によって、文のニュアンスが変わることもあります。

(注)訂正は、「間違い探し」の常識の範囲で行います。

たとえば、人名等の固有名詞を変える・文章全体の時制を
変える・ストーリーを変える、などは、訂正ではなく変更にな
ってしまいます。あくまで、「間違い探し」という課題の常識(枠
組み)の中で誤り発見・訂正を行います。

② 正しく直した文を読み直します。

※学習者が誤りを発見できなかったり、間違った修正を行って
いる場合は、解答例を参考に正しい文に直してから、音読して
もらってください。

※文章中の誤りの数が、示されています。誤りの数
を手がかりにすると探索・発見がしやすくなります。

★誤りは、助詞エラー・指示語エラー、単語用法
エラー、時制エラーなど、文法・語意味両面に
渡って、多種のエラーのタイプがあります